



学力を上げるにはやる気をだすには

お母さんの言葉かけ次第

お子さんのやる気を引き出すのは、お子さんへの言葉かけに、かかっています。
一番は、「ほめる言葉・前向きな言葉」です。

*お子さんがやる気をだす親の言動とは？

- ①頑張れではなく「こうやったら？」と具体的に教えてくれたとき。
- ②「よくやっているの知っているよ」と認めてくれたとき。
- ③親自身が頑張っている姿を見た時。
- ④疲れたときに「アイス食べる？」と言ってくれたとき。
- ⑤悩んでいる時に「一緒に考えよう」と言われたとき。
- ⑥お母さんのとびっきりの笑顔を見た時。



グッドタイミングにほめ言葉をかけてあげてくださいね。

子どもをほめるときに気をつけるべき「4つ」のポイント

【ポイント 1】 真実みがあるか？

うそっぽくほめても意味がありません。子どもはすぐに感じ取ってしまい、逆効果です。

また、本当の気持ちでほめている場合でも、あまりに一般的だったり、大げさだったりするほめ方は避けなくてはなりません。

【ポイント 2】 何をほめるか？

才能や性格など、比較的固定的と思われる性質でほめるのは避けたほうがいいようです。

たとえば、「算数の天才だ!」「とてもしっかりしたいい子ね!」などは注意が必要です。

この場合、ほめられたときに短期的なモチベーションは上がりますが、長期的なモチベーションにはリスクがあります。

それに対し、努力などをほめるのは効果的だとされています。

たとえば、

「算数、たくさん頑張ったから、すごいできるようになったね」

「意識して努力しているからどんどん自分でできるようになってきたね」

などがいいでしょう。

自分の固定的な才能や性格ではなく、**努力のプロセス**をほめてあげることが大切です。

しかし、なんでもバランスが肝心。

【ポイント 3】「ほめてつる」のが目的化していないか？

なぜ、ほめているのかを意識し直しましょう。

よくできた！と思った感動を表したり、教育的なサポートをするのはいいですが、ほめることで子どもの行動をコントロールしようとしてはけません。

そうしてしまうと、子どもは敏感なので、親が自分をコントロールしたためのほめ言葉と察知し、その後のほめ言葉を変にとらえるようになっていたり、子どもとの関係性が悪化したりしてしまいます。

また、子どもをほめ、そのよい行動が繰り返された場合は危険です。

その子は親のほめ言葉をさらに期待した行動をとるようになり、ほめ言葉自体がお小遣いなどと同様、「報酬化」してしまうのです。

「報酬化」してしまうと、報酬のないときは一切やらなくなります。

それでは本末転倒なので、「報酬化」しないように注意しましょう。

【ポイント 4】能力を比較していないか？

子どもができたことをほめるときに、「クラスで一番ね！」「誰々よりできた」と他の子と比較してしまうことがあります。

気をつけていてもつい出てしまうでしょう。

こうした他者との比較によるほめ言葉によって、子どもは一時的に強く動機づけられることがわかっています。

しかし、長期的には問題です。

場所が変わったり、順位や比較的な評価が悪くなることが将来必ず起こります。

そうしたときに、現在の環境での比較では、モチベーションが崩れかねません。

ただ、他者との比較は小学3、4年くらいから意識し始める子が多いので、それより小さい子であれば、問題が少ないようです。

以上、4つのポイントは、どれも社会心理学の研究のエビデンスが積み重なったものです。

それらを意識して、差のつく子どものほめ方を実践してみましょう。

お習い事も飽きてきたり、止めたくなることもあります。どんなことでも山あり谷あり、子供が止めたいと思い、親はやらせたいと思う事があります。

そんな時ただ「がんばれ！」というのではなく、何につまずいて止めたいと思っているのか、親としてどう対応してやればクリヤーできるのか、一緒に子供と考えてあげてあげてください。

直近の目標を立てて達成感を感じさせてやるなど。

ご褒美はダメだと言われますがたびたびでは効果がなくなりますが、ここぞの時に使ってもいいと思いますよ。子供が喜ぶことや物をご褒美として乗り越えることができます。

困った？もうやだな？でなくこの出来事を乗り越えることでがお母さんを親にしてくれます。

最近はお誕生日、クリスマスと欲しいものがすぐ手に入るので、そんなお子さんはあまりご褒美の効果は期待できませんが。

あるお母さんの話ですが「うちは誕生日はケーキだけ、クリスマスは絵本だけです。」と言われていました。こんなお子さんにはご褒美の効果は大きいのかな？と感じました。

書道教室からのお知らせ



10月は広島書道展の練習でとにかくがんばりましたね。今年も審査委員で行ってきます。

今年出品出来なかった人は、来年がんばりましょうね。

上位10人に入ると、招待で中国へ行かせてもらえます。

まずは、会長賞以上とって県立美術館に展示してもらえると良いですね。

本当に挑戦するって子ども達の未知の可能性を引き出すんだなとつくづく実感しました。

結果を楽しみにしておいてください。

私もとてもがんばりました。**11月11日金曜日**を展覧会の作品整理の日にしたいので**お休み**させてください。**さくらの教室は16日休み23日水曜日**勤労感謝の日と**お休み**となります。

若干名展覧会の作品が取れていない生徒もいますのでもう少しがんばりましょう。

私ごとではありますが9月末に笑い文字初級講師の免許を修得いたしました。



文字の中に笑い顔を書くのです。

とっても可愛いでしょう。

お月謝袋の中に東広島のイベントのチラシを入れさせてい

たきました。早速お声がかかり初仕事

もし時間がありましたら覗いてみてください

食べ物以外はほとんど無料で体験できますよ

下記は笑い文字での私の講座のHPです。

<https://waraimoji.com/seminar/detail/14863/>

毛筆を持って来て欲しい学年さくらの教室

水曜日

2 日	9 日	16.26 日	30 日
4・5 年	3・6 年	休み	1.2 年

毛筆を持って来て欲しい学年柿迫教室

金曜日

4 日	11 日	18 日	25 日
4.5 年	休み	1.2 年	3、6 年

1.2 年生は道具を持っていて本人希望者と検定試験 6 級以上の方が持って来てください

第二聖徳幼稚園の生徒は 11 日がお休みとなります。ご了承ください。

英会話教室からのお知らせ

10 月のハロウィンは楽しかったですか？



文化の体験も英会話教室(ネイティブ)ならではないと思います。

ハロウィンはオーストラリアではパーティはしていなく日本と同じようにグッズがでて売られているそうですよ

そのてんアメリカの🎃ハロウィンは子どもを楽しませることを考える国だそうです。

すべてゲームはドナルドが考えてくれ手作りのものもありましたね。

本当の（日本でやっているものでなく）文化体験はいかがでしたでしょうか？

ドナルドが言っていたのですが子どもの頃毎年ハロウィンのコスチュームをそろえるそうです。

そしてそのための引き出しがありある程度ふえたらその中でアレンジしてきていきます。

ドナルドはゾンビ系が好きで怖いものばかり持っているといっていました。

子どもの頃の楽しそうなことを運転中の私に話しかけてくるのですが本当にアメリカ人はどう楽しむかを子どもの頃から教育されているのだなと感じました。

この度引っ越しなどで退会されクラス分けを新たに行いたいと思います。

近いうちに line にてお知らせしますのでご理解とご協力をお願いします。

11月15 日火曜日は夏の余分の振り替えをさせていただきます。なのでお休みです。